



「ひとりぼっちのいない町をつくりたい」と語る代表理事の岡本茂さん(左)と事務局長の岡本工介さん(高槻市で)

タウンスペースWAKWAK

(高槻市)

サポーター

独りの子作らない町に

ひとりぼっちのいない町づくりに向け、子どもや高齢者、障害者、外国人ら全ての住民が孤立せず、支え合う地域社会の実現を目指して活動する。大阪大、関西大といった6大学のほか、企業、地域ボランティアなど約120人が参加する幅広い協働の取り組みが特徴だ。

子どもの居場所づくりを進め、個別に指導が必要な中学生らへの学習支援では、大学生らが講師を務める。地域の子どもたちに食事を提供する「子ども食堂」は毎週開催。高齢者まで幅広い世代が交流する年2回開催の「わくわく食堂」には、毎回約1000人が参加するという。

運営を切り盛りする代表理事の岡本茂さん(70)と事務局長の岡本工介さん(41)は親子で、工介さんは「子どもがいつでも『ただいま』と帰れるような場所をつくりたい」と力を込める。

新型コロナウイルスの影響で、活動の会場として使ってきた施設などは休館が続く。スタッフは無料通信アプリ「LINE」などで子どもに連絡、生活の変化や悩み

の把握に努めており、「外出できなくても孤立しないよう注意したい」としている。

設立：2012年2月
 運営：高槻市富田町に事務所を構え、スタッフは岡本さん親子ら6人。富田地区のコミュニティ再生事業や空き家の再生などにも取り組む。問い合わせはWAKWAK(072・693・9005)。